

教育指導課便り

～つながり合い、共に学びをはぐくむために～

函館市教育委員会
学校教育部教育指導課
平成25年2月20日発行
VOL. 13

研究モデル校実践発表会報告

平成25年1月24日（木）に、「平成24年度研究モデル校実践交流会」を開催しました。交流会では、次の4校が、発表や協議等を行いました。

平成23・24年度研究指定校	<input type="checkbox"/>	函館市立鍛神小学校	<input type="checkbox"/>	函館市立深堀中学校
平成24・25年度研究指定校	<input type="checkbox"/>	函館市立えさん小学校	<input type="checkbox"/>	函館市立恵山中学校

発表や協議等の中で、校内研究の一層の充実と、児童生徒一人一人の確かな学びを実現するためのポイントとして、次のような点が明らかになりました。

- 学校課題を教職員全員が共通理解すること。
- 適用問題などによる形成的評価を指導に生かすこと。
- 学習意欲を高め、振り返りのできるノート指導を徹底すること。
- 児童生徒が互いに話し合ったり、学び合ったりする環境を整備すること。
- 家庭学習の習慣化を図るための工夫をすること。



特に、話し合いやノート指導においては、義務教育9年間の見通しをもち、発達の段階に応じた指導を継続して行うことの大切さや、教職員一人一人が課題を共有し、組織的に研究を進めていくことが必要であることなどが確認されました。

第2回教育課程担当者研究協議会報告

平成25年1月29日（火）に教育課程担当者研究協議会を実施しました。

今年度2回目の本協議会では、全国学力・学習状況調査やCRTについての分析結果の説明やえさん小学校・恵山中学校・榎法華小学校・榎法華中学校による小中連携の実践発表を行いました。

グループ協議では、第1回で報告いただいた各学校の「つながり」をもった取組の成果を協議し、各校の教育課程の具体的な指標による検証の方法を交流しました。



また、渡島教育局田中賢一義務教育指導班主査をお迎えし、北海道の学力の現状や学力向上の取組の例についての説明を行いました。

第2回小中生徒指導研究協議会報告

平成25年1月31日（木）、教育センターにおいて、第2回小中生徒指導研究協議会を実施しました。演習では、いじめ問題の対応について、子どもの視点に立って、グループごとに意見を交流しました。

不登校については、児童生徒長欠報告をもとに、函館市の不登校の状況や、月ごとの傾向等についての説明を行いました。

各校から提出いただいた事例の資料につきましては、出席された先生にお配りしましたので校内研修等で活用していただきたいと思っております。



コラム：特別支援教育

通常の学級における特別な配慮や支援を必要とする児童生徒に対応するためには、校内委員会を中心に校内組織を整備し、対象児童生徒に関わる全ての教職員が、組織的、計画的に対応していくことが重要です。

さらに、関係機関や家庭、地域との連携を密にしながら進めていくことが大切です。保護者との連携の場面では、以下のような点に配慮することが大切です。

- 話しやすい雰囲気や態度を普段から心がける。
- 子どもの成長の様子を継続的に伝えるなど、日常的なコミュニケーションを大切にする。
- 教育活動における子どものがんばりを具体的に伝え、長所やモチ味を共有する。
- 教育課程や指導方法について、具体的に説明をして理解を得る。

「笑顔キラリ!! 私たちの宝物」について ～園・学校・研究サークル取組紹介～

各学校から、2学期や冬季休業中の多数の取組を提供いただきました。

現在、掲示板では、北星小、白尻小、深堀小、北美原小、弥生小、大船小、南本通小、亀田小、西中、港中、戸倉中の取組を掲示させていただいております。

第3回の募集につきましては、3月上旬から予定しておりますが、常時、受け付けておりますので、提供いただける取組がありましたらご送付ください。

どうぞよろしく願いいたします。